

スキークラブニュース 2015年11月号

I. 30周年記念事業“サロン”開催!!

“サロン”を終えて

サロン実行委員会

思い起こせば二年半前、サロン実行委員会は30周年記念パーティーを担当する実行委員会としてスタートしました。

“パーティーもいいけど・・・何かあとで記憶に残るイベントにしたいね”こんな雑談のなかから、かながわブラインドスキークラブの“過去を振り返り”“現在を見つめ”“未来を展望する”「場」を提供しようということになり、“気軽に集える場”の意味を込めて「サロン」と名付けました。

30周年記念事業のコンセプト「この仲間だから・・・」を念頭に、“こんなことができたらいいなあ・・・”“あの時のあの人に逢いたい・・・”という思い盛り込んだ企画を練って結果、二部構成とし、第一部は未来に向けてブラインドスキーの輪を広げる場「ブラインドスキーサミット2015」、第二部は現・旧会員が集う場「懇親会」を実施しようということになりました。

二年余の準備期間を経て、去る10月3日(土)サロンを開催し、第一部、第二部ともに多くの方に参加いただき、無事終わることができました。これも、多くの方のご協力の賜物と思っております。深く感謝申し上げます。

サロン 第一部 シンポジウム “ブラインドスキーサミット2015” 報告

サロン実行委員 串田 直樹

日時： 2015年10月3日(土) 13:00~16:00

場所： 二俣川 ライトセンター 第一講習室A・B・C

参加者： 総計59名

[B：20名、S：39名(うち、外部団体 B：7名、S：6名)]

*他に神奈川新聞、毎日新聞(点字毎日)の報道取材 2名

ブラインドスキーへの取り組みと今後の課題を団体の枠を超えて語り合うことを目的に、ブラインドスキーに取り組む県内外の四団体(TABS/だいきークラブ/シー・ハイル/富山三つ星山の会)をお招きし、当クラブを含め五団体によるブラインドスキーサミット2015を開催しました。

当クラブの矢部さんが座長を務め、前半の第一セッションでは、五団体のパネラーによる各団体の生い立ち、組織、活動、誘導方法、パートナーの募集・育成方法・課題などの発表がされ

ました。当クラブは藤田功三さん(B)、衣笠健一さん(S)がパネラーとして登壇されました。

休憩を挟んで、後半の第二セッションでは、各団体のパネラーによる質疑・応答がされ、誘導方法やパートナーの育成方法などについて活発に意見交換がなされました。各団体のこれまでの歴史と経験、知見を踏まえた情報の提供もあり、ブラインドスキーに取り組む仲間相互の情報共有が進みました。また、会場からの質問もあり、参加者全員の理解も進みました。

当日は、神奈川新聞、毎日新聞(点字毎日)の取材もあり、4日(日)の神奈川新聞に本シンポジウムの記事が掲載されました。

……………以下に記事を転載……………

視覚障害者スキークラブ 活動30年 魅力伝え 横浜でシンポ

神奈川新聞

視覚障害者が雪上を滑走するブラインドスキーの魅力や課題を共有するシンポジウムが3日県ライトセンター(横浜市旭区)で開かれた。「かながわブラインドスキークラブ」(同区、渋谷清二会長)の30周年記念事業で、県内外の5団体約60人が参加。各団体が企画するスキーツアーのノウハウを伝え合い、安全な誘導方法やパートナーの確保策などについて議論を深めた。

「まち中ではゆっくりとしか進めない私たちにとって、あれだけのスピード感、解放感はスキーでしか味わえない。ほおで感じる冷気や足裏の感触でスピードを推測しながら、長距離を自分の意思で自由に曲がり進む。本当に楽しい」

同クラブ初代会長で全盲の男性(76)＝中区＝は、ブラインドスキーの魅力をこう語る。

視覚障害者の障害レベルや技術に応じ、前後を滑る1～2人の晴眼者パートナーが地形や方向、障害物、雪の状態、他のスキーヤーの動きなどを伝えながら誘導するブラインドスキー。視覚障害者と赤十字奉仕団、県ライトセンターのボランティアらによって1985年に結成された同クラブは、年2～4回のスキーツアー、シーズンオフには体カづくりのハイキングなどを行ってきた。設立当初10人だった視覚障害者は現在31人で、半数は全盲。66人の晴眼者がサポートに当たる。

この日のシンポには、同クラブのほか「だいすきークラブ」(港北区)なども参加し、誘導方法やスノーボーダーへの対策、晴眼者パートナーの確保・育成などについて熱心に議論。渋谷会長(弱視)は「いろいろな方に支えられ30年を迎えることができた。ブラインドスキーの発展に結びつけば」と、シンポ開催の狙いを話していた。

……………

このシンポジウム開催で、他団体との交流の第一歩を踏み出すことができました。この第一歩を一步で終わらせることなく継続的な歩みとして、ブラインドスキーの「継続・維持から発展・向上に」、更に「飛躍へ」と繋がるよう全クラブ員で31年目以降の活動に活かしていきましょう。

サロン 第二部 懇親会 報告

サロン実行委員 岡 由美

日 時： 2015年10月3日(土) 18:00～20:30

場 所： 桜木町 H×3(エイチ バイ スリー)

参加者： 総計60名

[現・旧会員及び家族 B：22名、S：38名(うち、外部団体 B：3名、S：4名)]

ライトセンターで行われた<サロン>第一部「ブラインドスキーサミット2015」に引き続き、横浜みなとみらいの夜景を楽しめる桜木町のレストラン H×3(エイチ バイ スリー)にて、かながわブラインドスキークラブ30周年記念事業<サロン>第2部「懇親会」が賑やかに執り行われました。

現在活動中のクラブ会員は勿論、5年ぶり、10年ぶりという懐かしい方、<サロン>第一部「ブラインドスキーサミット2015」のパネラーとしてご協力くださった外部団体の方も一部ご参加くださり、楽しく飲み、食べ、語らいました。また、会場では、かながわブラインドスキークラブ30年間の思い出の写真もスライドショーで上映しました。

さらに、30周年記念Tシャツも作成し、事前に希望された方に販売しました。「この仲間だから・・・」をテーマに、ブラインドスキークラブの過去、現在、未来へと繋がるような場として<サロン>は企画されました。

久々の再開を喜び合う声、ブラインドスキーについて熱く語り情報交換する声、未来に向けて夢膨らませる声、会場内はそんな明るく楽しい声であふれていました。

ブラインドスキークラブの始まりから現在まで、繋がりそして広がってきたこの仲間の輪は、今回の<サロン>で知り合った新しいブラインドスキー仲間とともに、さらに大きな仲間の輪になりました。そして、「この仲間だから、また新しい一歩を踏み出して行ける」ことと思います。

参加者からの声

30周年記念事業“サロン”に参加された方々が感想文を投稿してくださいました。以下にご紹介します。

TABS(Tokyo Association for Blind Skiers)
シンポジウム ブラインドパネラー
青木 隆明

この度、ブラインドスキーサミット2015に参加させていただき、TABSの活動について紹介できたことをこの場を借りてあらためてお礼申し上げます。

私たちTABSは設立から12年、都盲協時代を含めると20年活動を続けてきました。その間、ツアーの実施方法、サポーターの確保、適切な機材の確保など、様々な課題に試行錯誤してきました。今回、サミットに参加して他のクラブの活動や直面する課題を知ることができました。課題の中には共通するものも多く、今後クラブ間が連携していくことの必要性を感じました。各クラブの発表を聞き、ディスカッションする中で感じたことは、各クラブが活動を続けてきた歴史の重みです。それは“スキーを楽しみたい”“雪と戯れたい”“仲間を大切にお互い笑顔になりたい”そういう気持ちが支えてきたのだと思います。

スキーは視覚障害者にとって決して気軽にできるスポーツではありません。その活動を視覚障害者と健常者が共に関わりながら長く活動が続けていることに素晴らしい価値があると思います。これからもこの活動を続けていきたいと思ひます。

TABS一同

かながわブラインドスキー創立30年記念
“ブラインドスキーサミット2015”に参加して

10月3日神奈川県ライトセンターにて、ブラインドスキー団体TABS、だいすきークラブ、シー・ハイル、三ツ星山の会、かながわブラインドスキークラブの5団体のクラブ紹介が行われ、クラブの歴史、活動状況、誘導方法、サポーターの募集育成、現在の課題など各クラブの代表より報告が有りました。どこのクラブも会員、パートナーの高齢化、パートナーの人員不足、ツアー費用の高騰などの現状報告後、意見交換を行いました。

各クラブそれぞれに、毎年2～3回のツアーを計画し、伴走パートナーも1～2名で実施しているようです。だいすきークラブでは、原則として人員が確保できれば安全確保の為、2名が欲しいのですが、特に若い世代のサポーター不足に苦慮しています。誘導方法もマイクを使って、ブラインドスキーヤーへの方向指示に加え、他のスキーヤーに注意させる事も必要ですので、備品の準備費用も負担になっています。パートナーの募集も当クラブは、全日本学生スキー連盟にお願いしていますが、学生スキーではポイントレースが毎週あるため、なかなか日程が確保できません。

ツアー費用の高騰で、参加者の出費が問題ですが、宿泊費、リフト代等格安で提供してくれるスキー場を、各クラブの情報交換で情報共有するとともに、共同して多方面に働きかけることも必要でしょう。

これからも各クラブで情報を集め交流を深めて行きたいと思います。

シー・ハイル
シンポジウム ブラインドパネラー
伊藤 聡子

30周年にお招きいただきまして、ありがとうございます

神奈川県ブラインドスキークラブ結成30周年、本当におめでとうございます。そして、五つの団体を一堂に集めてのシンポジウム開催、大変有意義な機会を作ってください、ありがとうございました。

私たちシー・ハイルは1歳年下なのですが、皆さまの活発な活動の様子を聞かせていただき情報交換ができてよかったです。どこのクラブもパートナー集めに苦労されていたのが印象に残りました。そして、様々な課題はありますが、いつまでも視覚障害者がスキーを続けることができ、また、多くの人たちに楽しいスキーが広がっていったらと思いました。

懇親会にも参加させていただき、アットホームな雰囲気、会員でなくてもとても居心地がよく楽しかったです。しばらく参加されていなかった方へのインタビューも、微笑ましく感じました。私にもマイクが回ってきましたので「どこかのスキー場を貸し切って、各地のブラインドスキークラブが大集合して滑れたらいいですね」と、ある方が言っておられた言葉を紹介させていただきました。

今回のサロンをきっかけに、また情報交換や交流の機会があるといいですね。準備など大変だったかと思いますが、この後の北海道ツアーもどうぞ楽しんでください。どうも、ありがとうございました。

富山三つ星山の会

事務長

桐井 英志

この度は貴クラブ30周年記念事業「サロン」に参加させていただき、ありがとうございました。誘導法や課題など非常に有意義な情報交換と競技に関する啓発理解の機会となり、また、関係する皆様方と貴重なる交流を辿らせていただきました。特に、拡声器利用による誘導や、当会は地元での日帰り行事ですがツアーを組まれる他団体の積極的な活動状況など当会会員に報告、大変に参考、刺激となりました。ここに改めて、貴クラブ30周年そしてその素晴らしい伝統に対し、心からの敬意と祝意を表します。

また、今行事開催にあたり、数々の懇切丁寧なる御配慮に対し厚く御礼を申し上げます。誘導に関し差異のない当会の取り組みを自信としつつ、貴クラブの同一負担等の運営に学びパートナー不足をはじめ抱える諸課題の共通性を理解し、今サロン一員に加えていただいたことを誇りとして、より一層、発展へ尽力したいと考えます。今後とも末永く交流いただけるよう宜しくお願い致します。

かながわブラインドスキークラブ
シンポジウムブラインドパネラー

藤田 功三

30周年シンポジウムを終えて！

2015年10月3日(土曜日)多くのブラインドスキー仲間が集った。以前より、総会や役員会の時などで、「同じようにブラインドスキーをやっているグループと、交流を持ちたいね」と言う話はあったのです。それが、クラブ発足30周年と言う機会に実現したのです。

10月3日の午後、神奈川県ライトセンターに多くのスキー仲間が集いました。TABS、シー・ハイル、だいすきー、遠くは富山から三つ星山の会の皆さま、そして久しぶりの懐かしいかながわブラインドスキークラブのブラインドと晴眼者！

各グループのお話では、発足の経緯、運営方法、何処のスキー場で？費用は？誘導の仕方など、今後かながわブラインドスキークラブで参考になる話もいろいろあったのでは？そして、共通の悩みとしては、高齢化、晴眼パートナー不足ですね。とても有意義な交流だったと思います。これを機会に連絡を取り合い、より良いブラインドスキーが続けられるといいですね。最後になりましたが、この素晴らしい会を成功させてくれた、サロン実行委員会の皆様のご苦勞に心より感謝いたします。

かながわブラインドスキークラブ

岩鞍スキーツアー実行委員長

西川隆之

サロンに参加して

ひとりの参加者として、このような機会をご提供いただきましたこと、改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

シンポジウムでは他BS団体の組織運営やツアー運営等について知ることができ、また、懇親会では意見交換を通して、ツアーにおける課題への対案等についての情報共有ができました。私自身、大変有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

30周年記念行事の企画において、懇親会の開催のみにとどまらず、他BS団体とのシンポジウムの実現という大きな目標を掲げ、2年半という長期にわたってご準備をなされたとお聞きしております。

このような大きな企画を実現するにあたっては、実行委員会全体で何度も困難に立ち向かい、企画に携わった方お一人お一人に想像を絶するご苦労があったとお察しします。

しかしながら、それらも一致団結した実行委員会の底力で乗り越え、当日の運営、司会進行、参加者受付/誘導、移動、会場設営/片づけ、全てにおいて各ご担当者の方”がご自身の役割を完璧にこなしたことで、サロン企画大成功というクラブ設立初めての快挙を達成したのではと、個人的には思います。本当に「クラブの発展」につながる行事だったと思います。

これからはツアー実行委員会において、本格的に両ツアーの実現に向けて取り組んでまいります。役員会とも連携しながら、「安全で確実な両ツアーの実現」を目指し頑張っていきたいと思います。

本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

Ⅱ. きずな30実行委員会報告

高野和男

きずな30実行委員会では、30周年記念イベント『サロン』へのデータ支援、ホームページの更新、創立30周年記念誌電子版の作成を進めてまいりました。『サロン』での対応は無事終了し、ホームページ関連では、サーバーの変更で容量も100GBとアップし、URLは変更なくデザインを一新しました。変更作業は最終段階となり、現在データ・写真の追加を行っています。今後の作業は、収集した情報を元に、記念誌電子版の作成とホームページの継続的な管理について検討いたします。

Ⅲ. 30周年記念ツアー実行委員会報告

ツアー実行委員会 矢部健三

15～16シーズンの準備が着”と進行！

今年度はクラブ設立30周年を記念して、1月30日から2泊3日で岩鞍ツアー、2月27日から2泊3日でキロロツアーと、2回のツアーを実施いたします。詳細は別紙をご参照ください。今年も参加申し込みを1月2月の両ツアー、一括で行います。昨年と日程が若干異なりますので、十分ご注意ください。一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

IV. 座談会・忘年会のお知らせ

クラブ役員会 企画担当

日時：平成27年12月6日(日)14:00～16:30

受付開始は13:30

場所：ライトセンター 2階第1講習室(A・B)

今年12月の研修会は、クラブ創立40年に向けて、これからのかながわブラインドスキークラブについてみんなで話し合い、情報を共有する対話形式の座談会を開催します。

10月に行われた、30周年記念事業サロン第1部のシンポジウムの中でも、各ブラインドスキーの団体ととても興味深い話し合いと情報共有が行われました。

参加された方は、今まで以上にクラブの活動に参加してみたいと思ってみませんでしたか？最近、あまり活動に参加されていなかった方。今回の企画で再デビューするチャンスです！当日は、各5～6人のグループに分かれて、企画係から提案したテーマにそって話し合い、各グループごとに話し合った内容を発表してもらいます。

皆さんのちょっとした一言や、アイデアがこれからのクラブの活動の原動力になるかもしれません。

堅苦しくなく、気楽にわいわいがやがやと意見交換ができればと思っています。

多くの方の参加お待ちしております。

また今年も研修会終了後に二俣川で忘年会を開催します。

会場：だんらん炎 045-360-8010 会費4000円

こちらもぜひご参加よろしく申し上げます。

研修当日の連絡先：小林

【研修会・忘年会の出欠について(はがき・メール)】

- ① 研修会・忘年会の両方出席
- ② 研修会のみ出席
- ③ 忘年会のみ出席
- ④ 研修会・忘年会ともに欠席

いずれかを選び返信してください。申し込み締め切りは11月21日です。

V. JRPSからのお知らせ

【JRPSユース部会スキーツアーへのご協力をお願い】

クラブ晴眼会員の方々へ

JRPSユース部会員の愛知県の竹内和沙です。いつも大変お世話になります。

本日は、2016年2月13日・14日に開催いたしますJRPSユース部会スキーツアーへのご協力をお願いいたたくご案内いたします。

今年度もまたJRPSユーススキーツアーを開催したく、ぜひクラブ晴眼会員の皆さまにご協力をお願いできればと思いご連絡させていただきました。

【1】 2015年度ユーススキーツアー概要

- 日程 : 2016年2月13日(土)~2月14日(日)
- 行先・宿泊先: 岩原スキー場 ホテルアルパイン(新潟)
- 交通手段: 往復新幹線(土曜朝東京発、日曜20時頃東京着)
- 参加人数: 晴眼20名、ユース10名目標
- 参加費 : ￥25,000円前後

【2】 参加申し込み

ご参加いただける方は、かながわブラインドスキークラブ事務局へご連絡下さい。

【応募締切】2015年12月20日(日)

参加希望をいただいた方々へは、応募フォームと別途詳細をご案内いたします。

たくさんのご参加をお待ちしております。

2015年度ユーススキーツアー実行委員 竹内和沙

VI. 事務局からのお願い

クラブ設立30周年記念「きずな30」実行委員会ではこのほどクラブのホームページ「声のきずな」をリニューアルしました。

ホームページのURL〔<http://kanagawa-blindski.com/>〕は変更ありませんが、問い合わせ先を含むクラブ事務局のメールアドレスをホームページに記載のメールアドレスに変更いたします。

今回のクラブニュースメール版送信者は従来のYahooメールアドレスで送信いたしますが、次回からは新しいアドレスでお送りいたします。

クラブ会員の皆様にはアドレス帳の修正用に、逐次新アドレスへの変更依頼メールをお送りいたしますので受信確認メールをお送りくださるようお願いいたします。

なお、来年の総会までは新旧両方のアドレスで受信できるようにしておきます。

以上よろしくご協力お願いいたします。

かながわブラインドスキークラブ事務局

白崎正彦

2016年1月・2月のスキーツアーのご案内！

立冬の候、クラブ員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、皆様もご存じのように当クラブは本年8月18日に、創立30周年を迎えました。そこで、今シーズンのスキーツアーは1月末に恒例の岩鞍スキーツアー(群馬)と、2月末に創立30周年記念ツアーとして、北海道・キロロスキーツアーを実行委員会にて企画いたしました。

どちらのツアーも良い思い出になるよう、思いっきり滑って楽しみましょう！ぜひふるってご応募ください。

参加ご希望の方は、本紙と同封の「返信用ハガキ」または「返信用メール」にて、2回のツアーとも 11月22日(日)必着でお申し込みください。

※予約など手続きの都合上、不参加の方もハガキもしくはメールで必ずお返事ください。

ツアーに参加希望の方は、同封いたしました返信用ハガキ／メールの以下のような項目に洩れなくご記入ください。保険加入のための必須事項が含まれておりますので、お手間をとらせて恐縮ですが、よろしく願います。

住所・氏名・電話番号・携帯番号・生年月日・ブラインドの方のみ：障害者手帳第1種、または第2種
ツアー中の(留守宅)連絡者・本人との続柄・その方の電話番号・レンタルスキーの希望(希望する場合は、足のサイズと身長)。

なお、保留の場合は参加、不参加の決定時期を必ずご記入ください。

☆問合せ先

【お問い合わせ(1月・2月共通)】

事務局まで

【1月岩鞍スキーツアー担当】

西川

【1月岩鞍スキーツアー会計担当】

福原

【2月北海道・キロロスキーツアー担当】

矢部

【2月北海道・キロロスキーツアー会計担当】

市川

【1月・2月共通の実行委員】

射場、太田、志村、高野、豊田

裏面にスキーツアー概要があります



【2016年1月の岩鞍スキーツアー概要】



☆日程 2016年1月30日(土)朝出発～2月1日(月)夜解散

☆行先 ホワイトワールド尾瀬岩鞍スキー場

☆宿泊先 ロッジ かぶらぎ

住所: 〒378-0412 群馬県利根郡片品村土出 2609-201

TEL: 0278-58-7788 FAX: 0278-58-7194

URL: <http://www.ozeiwakura.com/kaburagi/>

☆交通手段 横浜市福祉バス(予定)

☆定員 35～40名程度

(原則として先着順ですが、ブラインドの応募が多い時は抽選になる場合があります)

☆参加費 32,000円前後

(交通費、宿泊費、2朝食、2夕食、リフト券3日分、保険料、懇親会経費、雑費)

【2016年2月の創立30周年記念 北海道・キロロススキーツアー概要】

☆日程 2016年2月27日(土)朝出発～29日(月)夜解散

☆行先 北海道・キロロスノーワールドスキー場

☆宿泊先 シェラトン北海道キロロリゾート

住所: 〒046-0593 北海道余市郡赤井川村常盤 128番地 1

TEL: 0135-34-7111 FAX: 0135-35-3104

URL: <https://www.kiroro.co.jp/jp/winter/>

☆交通手段 羽田空港より飛行機とスキー場直通バス

☆定員 25～35名程度

(原則として先着順ですが、ブラインドの応募が多い時は抽選になる場合があります)

☆参加費 60,000円前後

(交通費、宿泊費、2朝食、2夕食、リフト券3日分、保険料、懇親会経費、雑費)

【1月・2月ツアー共通の ツアーコンセプト】 “心も身体もまずコントロール～みんな大人なんだから～”

- ・心のコントロール : はやる気持ちを少し抑え、スピード抑えてコントロール!
- ・身体のコントロール: 歳と体力を認識し、安全技術でコントロール!
- ・追伸コントロール : 健康第一、飲み過ぎ、吸い過ぎコントロール!
(スピードは控え目に抑え、自己のスキー技術がアップすることを楽しみとしましょう!)

【1月・2月ツアー共通の注意点】

- ・晴眼者の方は保険証・運転免許証などの生年月日のわかる物、ブラインドの方は必ず障害者手帳をご持参ください。
- ・お申し込み後のキャンセルについては、キャンセル料が発生いたしますので、予めご了承のうえ、速やかにお申し出くださいますようお願いいたします。
- ・キャンセル料については個別にご連絡いたします。
- ・参加者には後日、詳細な日程等を送付いたします。

